



共生社会システム学会ニュースレター The Association for Kyosei Studies News letter

2022年3月7日発行 第27号

目 次

1. 2021年大会（オンライン）の報告	1
2. 2022年大会（東京大学）の開催について（第1報）	2
3. 運営委員会の議事概要の報告	3
4. 『共生社会システム研究』編集委員会からのおしらせ	5
5. 運営委員会事務局だより	5
6. 会費納入のお願い	5

1. 2021 年度大会の報告

2021 年度共生社会システム学会大会は、2021 年 9 月 25 日と 26 日の 2 日間にわたって開催されました。昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を受けてオンライン上での実施になりましたが、開催校企画シンポジウムと学会企画シンポジウム（学会 15 周年記念シンポジウム）の 2 つのシンポジウムと、2 会場 10 本の個別報告が行われました。

開催校企画シンポジウムでは、「SDGs の現状と可能性：内発的発展論の視点から」と題して、金沢大学の田邊浩先生（社会学）に座長をしていただき、①堤敦朗先生（保健学）「MDGs から SDG へ 国連における検討の過程」、②北村健二先生（地域環境学）「地方都市の SDGs への挑戦 珠洲市の事例から」、③和田一哉先生（開発経済学）「開発経済学で見る MDGs と SDGs ミクロ経済研究に見るジェンダー問題」、④村上慎司先生（社会保障論）「SDGs の経済哲学序説——ケイパビリティ・アプローチから」の 4 本の報告をいただきました。金沢大学の学生を含め、約 180 名の参加があり、大変盛況なシンポジウムとなりました。

15 周年記念シンポジウムは、矢口会長の座長のもと、①市原あかね先生（金沢大）「ポスト新自由主義・ポストコロナ禍の地域ビジョン：気候危機と感染症問題、二つの環境危機を通して考える」、②新井祥穂先生（農工大）「〈農〉の再生の基礎にあるもの：労働力に着目して」、③片山善博（日本福祉大）「他者との共生 ～ 身体の共同性の視点から承認・尊厳概念を問い直す」の 3 報告をいただきました。こちらも約 70 名の参加があり、盛況なシンポジウムになりました。

シンポジウムでは、幸い、発表が中止となるような技術的トラブルもなく、各報告後の質疑応答に加えてチャットの間での質問など、オンライン形式ならではの議論もあり、盛況に終えることができました。

また、大会に合わせて理事会と学会総会も開催されました。総会での議事事項は以下の通りです。いずれも出席者の賛成多数によって承認されました。なお2021年大会での役員改選はありません。

- (1) 2020年度事業報告
- (2) 2020年度決算報告
- (3) 2020年度決算の監査報告
- (4) 2021年度事業計画
- (5) 2021年度予算

ご協力いただきました皆さまに、感謝申し上げます。

2. 2022年度大会（東京大学）の開催について（第1報）

2022年度大会（東京大学）を、以下の要領で開催いたします。本年も、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面とオンラインの双方での実施（ハイブリッド方式）といたします。会員各位の積極的な参加をお願いします。

- ・日程：2022年9月17日（土曜日）
- ・会場：東京大学農学部＋オンライン

- ・プログラム

午前中 一般報告，会員企画ワークショップ

12:00～14:00 理事会・総会

14:00～17:50 シンポジウム

- ・シンポジウムのテーマ「変質する資本主義と共生社会形成の担い手」（仮題）
—食料・農業問題の位相変化と地域再生への課題—（仮題・検討中）

第1報告

（仮題）変質する現代資本主義の行方—構造変化と環境・資源・格差問題の動向（40分）

報告者：諸富徹（京都大学）※オンラインでの参加

第2報告

（仮題）食料・農業政策の基調変化と食料安全保障の行方（40分）

報告者：磯田宏（九州大学）

第3報告

（仮題）共生社会システムに向けた「担い手」育成と連携課題（40分）

報告者：田中夏子（長野県高齢者生活協同組合理事長・協同総合研究所理事）

- ・個別報告・会員企画ワークショップの募集

大会での一般報告および会員企画ワークショップを募集いたします。締切等は次のニュースレターに記載しますので、それに従って申し込みをしてください。

3. 2021年度運営委員会 議事概要の報告

これまでに、第1回（2021年10月24日）、第2回（2021年12月5日）、第3回（2021年12月25日）、第4回（2022年1月22日）の4回の運営委員会が開催されました。それぞれの議事の概要は以下の通りです。

○第1回運営委員会

日時：2021年10月24日（日） 13:00～

場所：オンライン

出席者：矢口、古沢、荒木、桑原、岡野、吉田、稲村、新井

議事：

1. 入退会の承認、会員動向 3名の退会を承認した。ただし一部の退会希望者について、改めて慰留することとした。

2. 2021年大会（金沢大学・オンライン）の報告

(ア) 金沢大学での経費、関係者の①参加費支払い、②投稿予定について確認する。

(イ) 参加登録をせず大会参加費を払った会員については、会費の一部にあてる。

3. 2022年大会の準備

(ア) 東京大学農学部で開催。日程は2022年9月17日（土）を第一候補とするが、他の学会（農業経営学会等）の日程を確認し、できるだけ重ならないように後日決定。

(イ) 大会テーマについて、11/6に企画担当理事（秋山）と会長で相談する予定。→次回運営委員会で提起、できれば報告者も決めていきたい

(ウ) 「大会準備に関する申し合わせ」を現状に即して改定することとした。

4. 会費未納の会員に対する対策について審議した。2022年の総会で、会則の改訂を含めて方針を出したい。

5. 稲村委員より挨拶があった。当面は、農林統計出版に引き続き事務をお願いする。

○第2回運営委員会

日時：2021年12月5日（日） 15:00～16:00

場所：東京農工大学農学部2号館320室

出席者：矢口、荒木、岡野、桑原、吉田、稲村、古沢（オンライン）、新井（オンライン）

議事：

1. 入退会について 新規入会2名、退会2名を承認した。

2. 引き続き、会費滞納会員への対応に取り組むこととした。

3. 学会15周年記念事業について

学会誌16巻で、2021年大会（金沢大学）での15周年記念シンポジウムに基づく特集を組む。

○第3回運営委員会

日時：2021年12月25日（土） 13:00～15:00

場所：オンライン

出席者：荒木、岡野、古沢、矢口、吉田、稲村

議事：

1. 入退会について 3名の退会を承認した。

2. 学会誌第17巻について

学会誌第17巻（2023年発行）について、当面は農林統計出版に発行実務を依頼することを前提にするが、第14巻のような大幅な発行遅延のような事態が起こらないよう常に業務状況を確認するものとし、発行遅れ等の懸念が発生した場合には他の出版社等への移行を図るなどの措置を準備しておくことを確認した。

3. 学会体制の整備について

今後の学会体制の整備について審議し、以下の5点について重点的に取り組むこととした。

①地方の大学で大会・シンポジウムを積極的に開催し、会員拡大につなげる。

②学生会員が卒業した後でも継続して学会に残るよう、フォローアップの努力をする（特に留学生）。

③本学会が掲げてきた理念が、SDGsなどの現在の社会的要請を先取りしたものであったことを踏まえ、大会で本学会の「3つの課題」およびSDGsに関連した分科会を設けるなど、学会設立の理念に立ち返った取り組みを進める。

④会則を改正し、副会長・理事の役割を明確にする。

会則の改正について、3月運営委員会までに原案を作成し、理事からの意見を聴取した後で9月の2022年大会で採決できるようにする。

○第4回運営委員会

日時：2022年1月22日（土） 15:00～16:00

場所：オンライン

出席者：矢口、古沢、荒木、岡野、吉田、新井

議事：

1. 入退会について

2名の入会と2名の退会を承認した。会員数は252名である。

2. 学会体制の整備について

矢口会長の資料「学会の会員拡大・体制強化等に向けて」および「2022年9月次期体制（引継ぎ）までの遂行事項」荒木副会長からの意見メールに基づいて意見交換をした。

5. 『共生社会システム研究』編集委員会からのお知らせ

『共生社会システム研究』第16巻は、2022年9月の発行を目指して論文審査・編集を進めています。学会15周年記念企画の第3回目として、記念シンポジウムに基づく論考を掲載します。

『共生社会システム研究』第17巻への投稿原稿を募集します。ふるってご投稿下さい。締切日は2022年11月1日（火）です。締切日を超えた投稿については、原則、次巻（第18巻）掲載の原稿として取り扱いますので、あらかじめご承知おき下さい。

投稿にあたっては、指定のフォーマットを使って原稿を作成していただきます。このことを含め、当学会ウェブサイトに掲載された投稿規定、執筆要領をよく読んで原稿を作成し、投稿してください。なお、4月に投稿規程を改訂し、投稿原稿についての説明を加える予定です。投稿の際にはそちらを参照してください。

原稿の送り先：

東京農工大学工学部知能情報システム工学科

『共生社会システム研究』編集委員長 岡野一郎

E-mail: i-okano☆cc.tuat.ac.jp（☆を@に変えて送信してください）

6. 運営委員会事務局だより

2020年から2021年にかけて、会誌（第14巻）発行の遅れや会費請求の遅れを招き、会員の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしましたが、第15巻はおおむね予定通り刊行することができました。今後も、再び第14巻のような事態が発生しないよう、細心の注意を払って学会の運営にあたってまいります。

皆様からのニュースレター原稿を募集しております。会員の活動紹介等も歓迎いたします。投稿は吉田(HALLA☆cc.tuat.ac.jp ☆を@に変えて送信してください)までお送りください。

7. 会費納入のお願い

運営委員会事務局でもお願いした通り、2021年度会費の納入をお願いいたします。会費は、一般会員6,000円、学生会員3,000円、賛助会員20,000円となっております。2019年度以前の会費を未納の方は、未納分も含めて納入をお願いいたします。

共生社会システム学会ニュースレター 第27号 2022年3月7日発行

編集・発行 共生社会システム学会運営委員会事務局

連絡先 〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

東京農工大学農学研究院 吉田 央研究室 気付

TEL: 042-367-5588 E-Mail: HALLA@cc.tuat.ac.jp

郵便振替 00130-6-372850（加入者名）共生社会システム学会